

日本の機窓から(2), 乗鞍岳, 御嶽山, 中央アルプス

< 須藤 茂¹⁾ >

写真の説明の後のカッコ内に、路線名と撮影月を付けました。

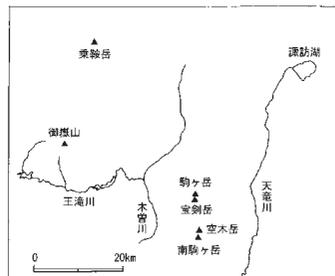


図1 位置図.

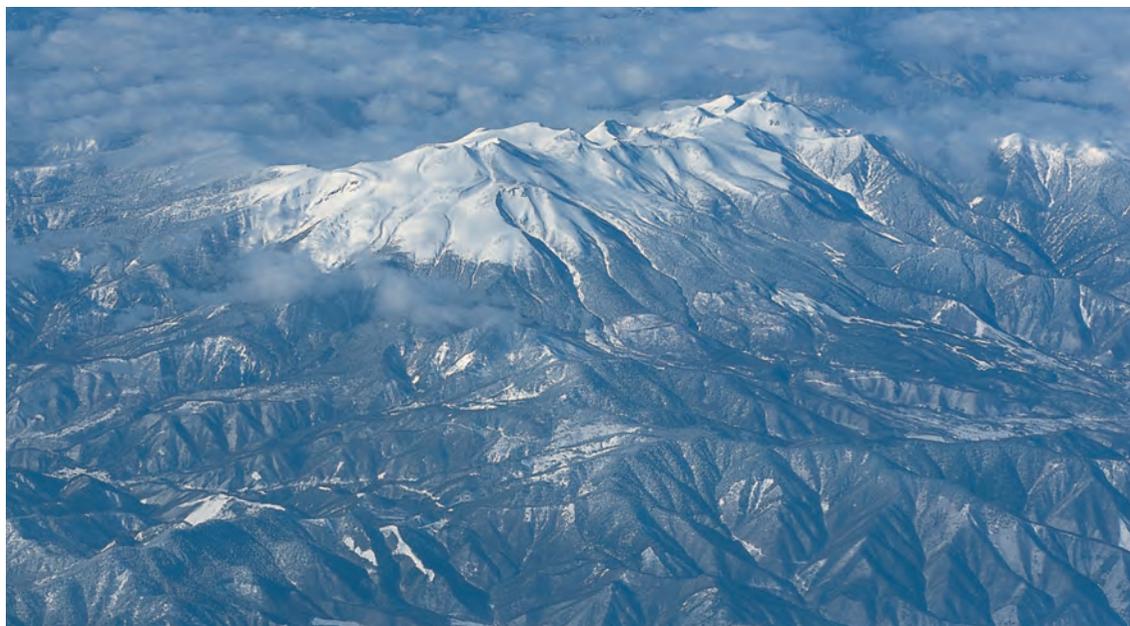


写真1 南東方から見た乗鞍岳。(福島-福岡, 2月)

山頂部は右(北)から、四ッ岳, 烏帽子岳, 大黒岳, 恵比須岳, 摩利支天岳, 最高峰剣ヶ峰(3,025.6m)などからなります。剣ヶ峰の右下が高天ヶ原の爆裂火口です。

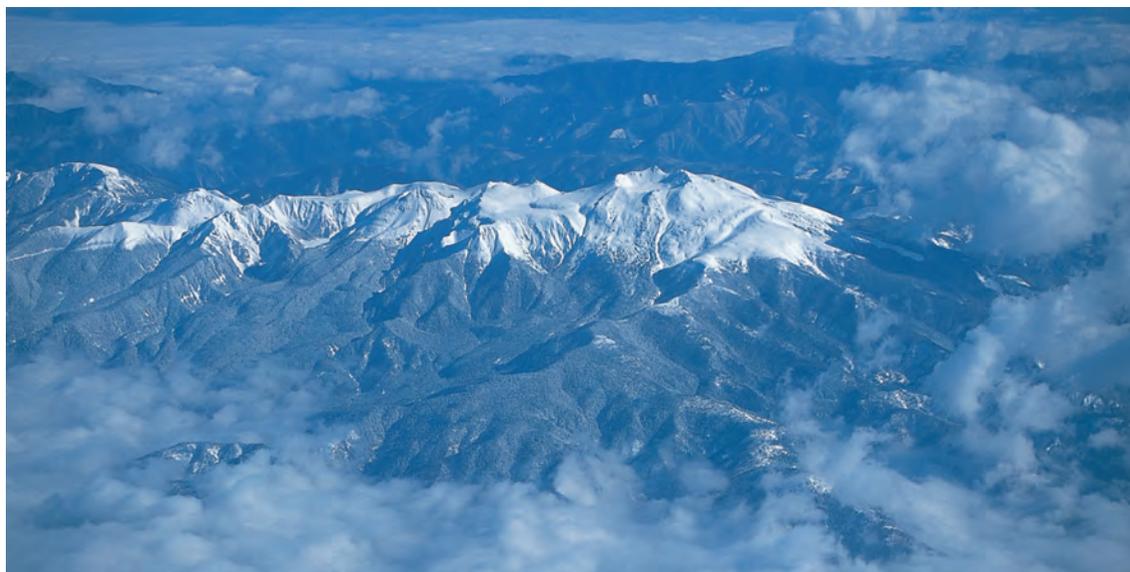


写真2 北西方から見た乗鞍岳。(名古屋-札幌, 3月)

こちらから見ると、剣ヶ峰が権現池の火口壁を作っていることがわかります。南北に連なる乗鞍火山はいくつもの火山の集合体です。



写真3 南東方から見た御嶽山。(名古屋-仙台, 11月)

1984年の長野県西部地震では、御嶽山の山体の一部(写真中央上の裸地)が崩壊し、土砂が高速で伝上川から王滝川まで流下し、大きな被害が出ました。中央右下の湖は王滝川の人造湖御岳湖です。

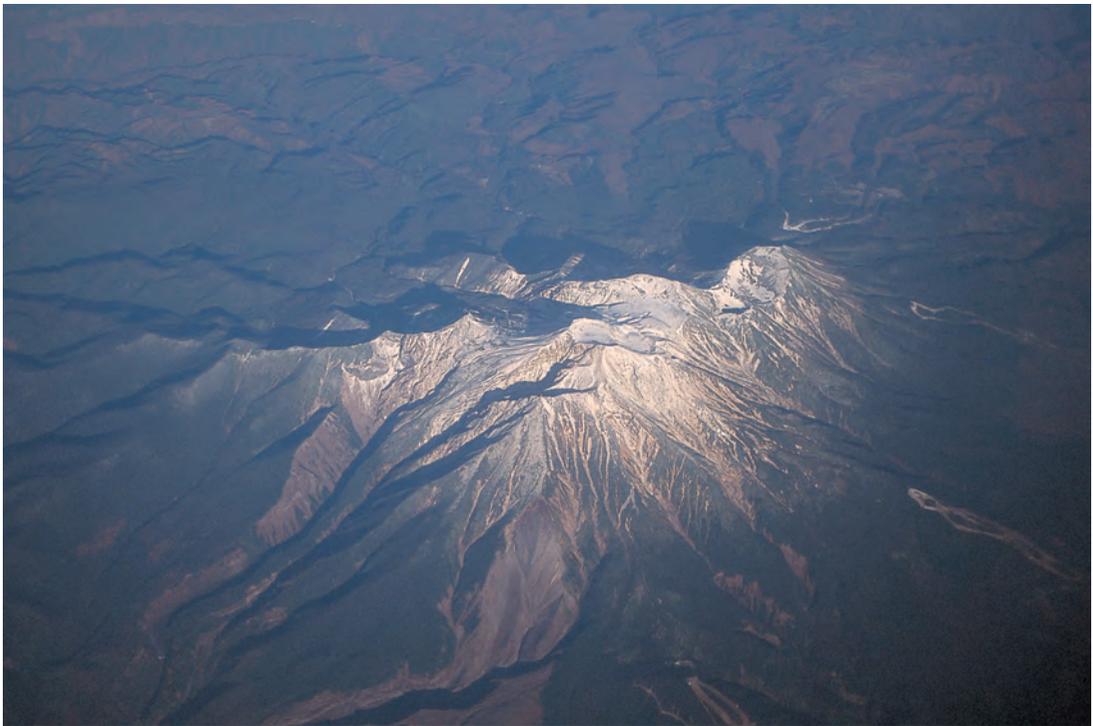


写真4 南方から見た御嶽山。(大阪-仙台, 5月)

御嶽山はいくつもの成層火山が集まってできている様子がよくわかります。中央下が伝上崩れと称されている崩壊地です。

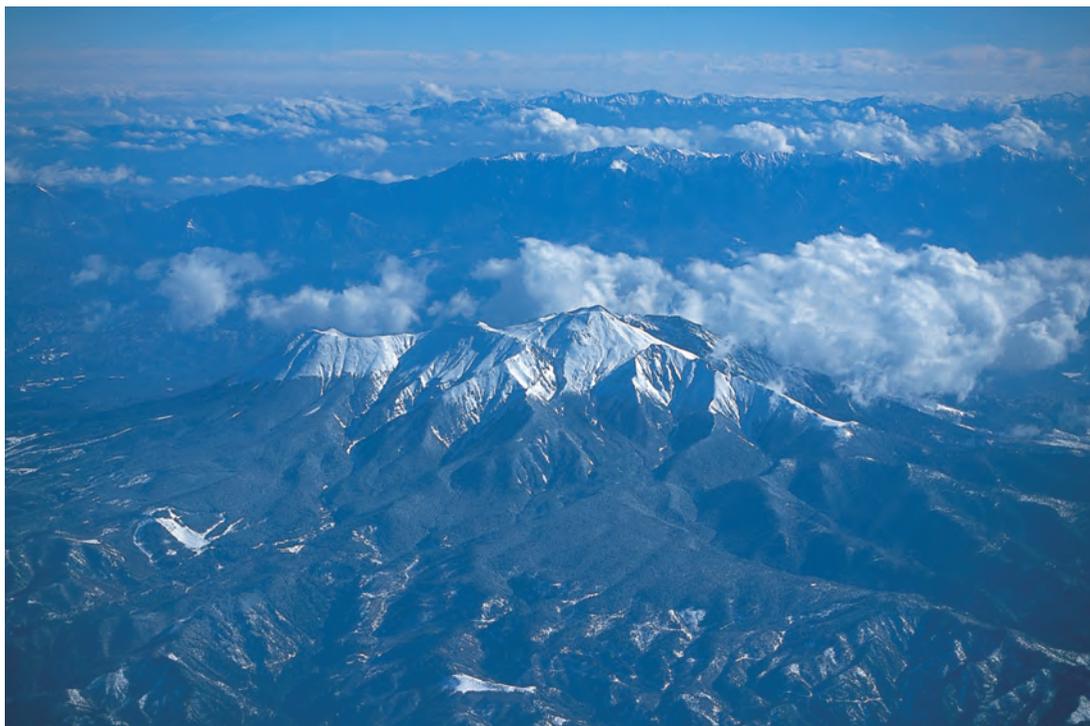


写真5 北西方から見た御嶽山。(名古屋-札幌, 3月)

左から、継子岳, 摩利支天山, 最高峰剣ヶ峰 (3,067m) が並んでいます。その向こうに中央アルプス, その先に南アルプスが連なります。

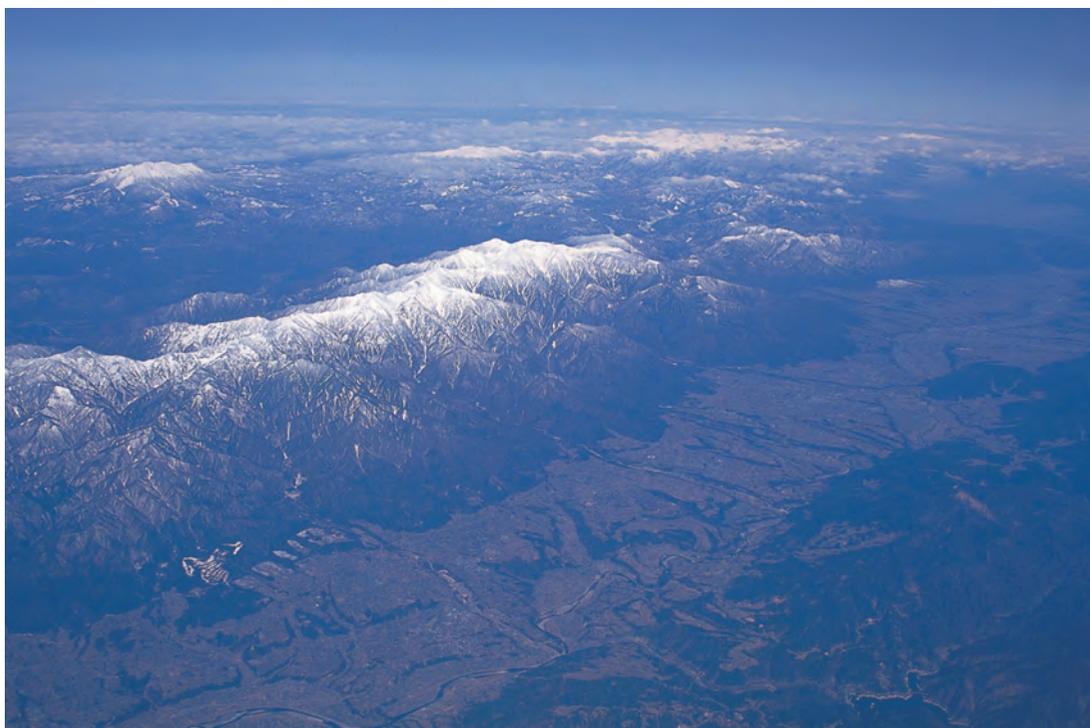


写真6 南東方から見た中央アルプス。(羽田-福岡, 2月)

手前は天竜川が流れる伊那谷で、その西側に中央アルプスが聳え立っています。標高差は所によって2,000m以上あります。左上は御嶽山です。

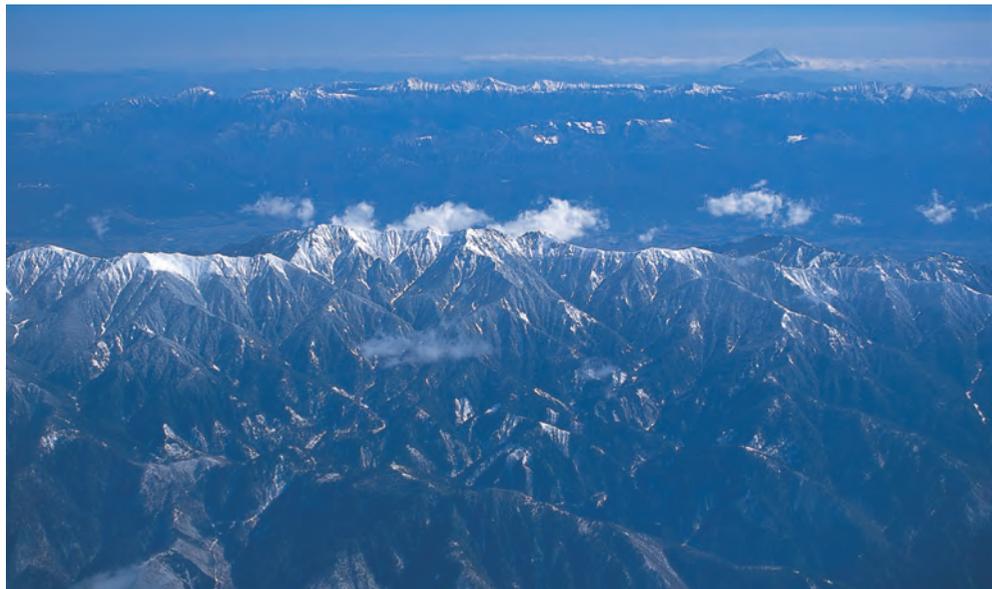


写真7 北西方から見た中央アルプス南部。(大阪-松本, 2月)

左(北)から檜尾岳, 熊沢岳, 空木岳(2,863.7m), 南駒ヶ岳, 越百山など, 後期白亜紀の花崗岩や花崗閃緑岩からなる山が連なります。遠方に南アルプスと富士山が見えます。

写真8 南東方から見た中央アルプス北部。(羽田-福岡, 6月)
南駒ヶ岳(左端)から, 空木岳, 宝剣岳, 駒ヶ岳に至る山が見えています。その途中の何ヶ所かに円くえぐられた氷食地形がみられます。

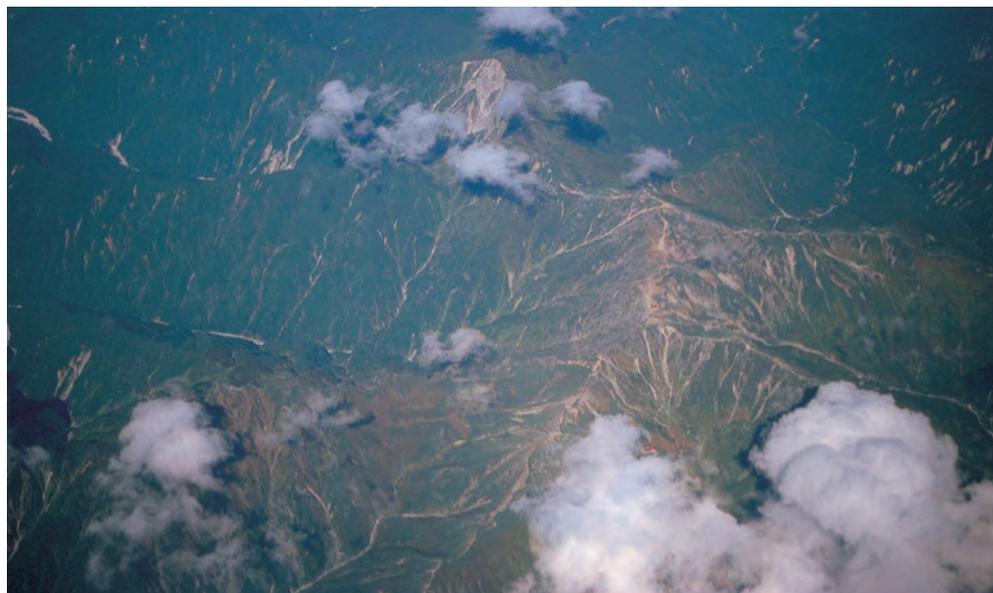
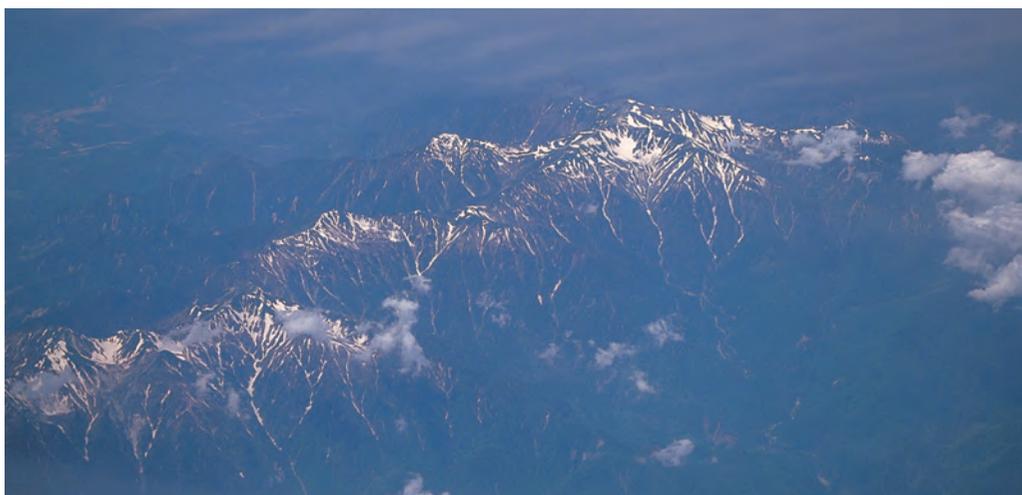


写真9 南方から見た木曾駒ヶ岳(中央右上, 2,956.3m)と宝剣岳(その下)。(大阪-仙台, 10月)

宝剣岳の下の円く削られた地形が千畳敷カールです。雲に隠れた部分にロープウェイが架けられています。